

こんにちは

日本共産党品川区議会議員

# 鈴木ひろ子 です



鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 TEL3783-8833  
日本共産党区議団控え室 TEL5742-6818

このニュースについてのご意見、  
ご要望をお寄せください。

## 羽田新ルート 国交大臣が「住民理解は得られた」と実施を決定

# 住民不在の決定は撤回を

品川区議会で全会一致で挙げられた決議

品川上空を飛行する羽田新飛行ルート計画に関する決議

…中略…  
危険性が指摘される中で、南風時の1日4時間のうち3時間とはいえ、品川区上空を飛行することは、多くの区民に理解しがたい現状がある。落下物、騒音への不安、国の説明・周知不足等の理由により、品川区上空を低高度で飛行する新飛行ルート案を容認することはできない。  
品川区議会は、国土交通省に対して品川区上空を飛行しないルートへの再考を強く求める。

以上、決議する。  
平成31年3月26日

品川区議会

13回の住民説明会で国交省は計画の正当性を語れず、どこでも懸念と反対の声が相次ぎました。

「地元は理解」していない！

品川区は、反対表明を行いませんでした。これは区民への重大な背信行為です。

石井国交大臣は8月8日に記者会見を行い、「地元の理解は得られた」「来年3月29日から実施する」と、2020オリンピック・パラリンピックに合わせ、都心・品川上空を超低空飛行する新ルートの決定を発表しました。

品川区議会では、3月に自民・公明も含む全会一致で「容認できない」「品川上空を飛行しないルートへの再考を強く求める」との決議をあげ、4月改選の新議会でも再確認されました。この4年間、27回もの区議会への請願や18回のデモ行進、繰り返された集会など、計画撤回を求めるたたかひの反映です。

共産党は他会派と共同し、議会論戦で計画の無謀さを浮き彫りにし、反対する区民と運動を共にしてきました。「地元の理解」はどこにもありません。それを無視して強行することは許されません。

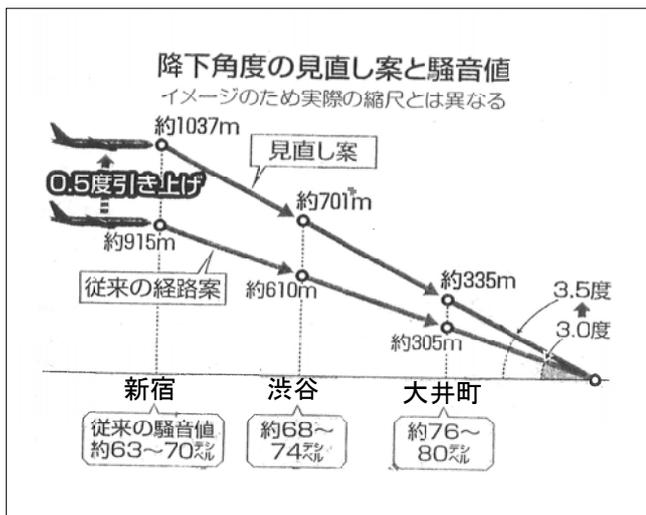
議会での共同広がる



「『容認できない』との決議の立場で国に意見表明を」と超党派の区議が区長への申し入れ（7月30日）

## 国交省の追加対策一危険性高まる

国交省は騒音軽減の追加策として、降下角度を通常の3度から3.5度上げ、大井町上空の高度を305mから30m引き上げるとしました。しかし騒音は変わりません。さらに、元機長の専門家は、「世界の操縦士は3.5度を経験しておらず、羽田は世界で最も着陸が難しい空港になり、尻もち事故などが多発しかねない」と警告。地域住民と乗客のいのちも安全も軽視する国交省の無責任な姿勢そのものです。



## これからがたたかい

住民の命と暮らし、環境を犠

議会では、共産党、生活者ネット、品川・改革、無所属議員らが共同して、区長に対して「『容認できない』との全会一致の決議の立場で意見表明を」するよう申し入れを行い、さらに区議会決議を無視して実施を決定したことに対して区議会として抗議の決議を提案するなど、共同が広がっています。

さらに幅広い皆さんと力を合わせ、区議会での共同も強め、羽田新ルート撤回へ全力を挙げます。ご一緒に力を合わせましょう。

犠にして進める計画に大義はありません。住民と議会を無視した一方的な計画決定は、安倍政権・国交省が追い詰められている証拠です。



## 全国障害者問題研究会 第53回全国大会 長野2019



8月3、4日に長野市で行われた「全国障害者問題研究会第53回全国大会」に昨年に続き石田区議と参加しました。「守ろう平和・いのち・人権 学びあおう発達保障」のテーマで、オープニング・文化行事から始まり、基調報告、無言館館長の窪島誠一郎氏の記念講演、計41の分科会、5テーマの学習講座と、豊かな内容で多くのことを学ばされた2日間でした。同時に障害者権利条約からほど遠い現状を実感。品川で引き続き当事者のみなさんと一緒に障害者福祉充実に取り組みたいとの思いを強くしました。

無料

## 法律・生活相談会

9月19日(木)

午後5:00~

鈴木ひろ子事務所  
中延2-11-7 ☎3783-8833  
弁護士さんが対応

します。  
どんな問題でもお気軽  
にご相談ください。